

安城市DX推進計画（案）パブリックコメントによる意見募集結果

1 意見募集の概要

- (1) 意見募集期間 令和3年4月1日（木）～令和3年4月30日（金）
- (2) 周知の方法 広報あんじょう（4月号）及び市公式ウェブサイト
- (3) 閲覧場所 経営情報課窓口、市民交流センター、図書情報館（アンフォーレ本館内）、教育センター、へきしんギャラクシープラザ（文化センター）、各地区公民館、青少年の家、東祥アリーナ安城（市体育館）、歴史博物館、市公式ウェブサイトにも掲載
- (4) 意見を提出できる人 ①市内に在住・在勤・通学している ②市内に事業所などを有する ③市内で活動している ①～③いずれかに該当する人
- (5) 意見提出方法 住所・氏名とご意見を記入し、持参か郵送、ファクス、電子メールで経営情報課まで提出

2 意見募集の結果概要

- (1) 意見提出人数 3名
- (2) 意見総数 5件
- (3) 提出方法 電子メール2名、郵送1名
- (4) 結果の公表 経営情報課窓口、市民交流センター、図書情報館（アンフォーレ本館内）、教育センター、へきしんギャラクシープラザ（文化センター）、各地区公民館、青少年の家、東祥アリーナ安城（市体育館）、歴史博物館、市公式ウェブサイト

3 提出された意見及び市の考え方

【意見区分】

- A: ご意見を受けて加筆・修正したもの (0件)
- B: ご意見の考え方が現行案に含まれていたもの (1件)
- C: 現行案とおりにしたもの (1件)
- D: 案に関連する質問など (3件)

番号	計画案の該当箇所	ご意見の概要（基本は原文どおり）	市の考え方	計画への反映	意見区分
1	(P15) 3. 官民データの容易な利用等に関して	2021年4月の現状ではあんくるバスの時刻表・停車位置は安城市ホームページ上にPDFとして公開されています。しかしあんくるバスを利用する際のユーザーの思考の流れとしては以下ようになっており、その手間の多さがサービス利用の障壁となっています。	あんくるバスのルート検索につきましては、既に、Google マップ (TM) の経路検索に対応しております。 また、乗り換え案内につきましては、NAVITIME、ジョルダン及び駅すぱあとにデ	ご意見については、左記の市の考え方のおりです。	B

番号	計画案の該当箇所	ご意見の概要（基本は原文どおり）	市の考え方	計画への反映	意見区分
		<p>1. A から B まで移動したいと考える</p> <p>2. 安城市ホームページにアクセスし A, B の最寄りのバス駐車場 A', B' を確認する</p> <p>3. A から A', B' から B までの道を民間の地図サービスで検索する</p> <p>そこで提案内容としては、GoogleMap 等の利用率の高い地図アプリにあんくるバスの経路情報の登録を促して頂き、民間業者に登録して頂ければユーザーの手間は減り、あんくるバスとしてもより利用しやすいサービスになります。</p>	<p>一タ提供を行っておりますので、目的に合わせてご利用いただけます。</p>		
2	<p>(P17、P19)</p> <p>4. マイナンバーカードの普及・利活用</p> <p>5. ICTの活用に関する人材育成、利用機会等の格差の是正</p>	<p>左記の2つの個別施策には重要業績評価指標がありません。これではPDCAサイクルが回せません。※P8の<図8 推進体制>参照</p> <p>この2つの個別施策についても重要業績評価指標の設定をお願いします。</p>	<p>重要業績評価指標については、全ての施策に設定するのではなく、特に重要な施策として位置付けている施策、かつ、他の計画等に記載のない施策に対し、指標の設定を行っております。</p> <p>なお、左記2つの個別施策ですが、「4. マイナンバーカードの普及・利活用」については、国の指針において令和4年度までに、ほとんどの市民がマイナンバーを保有することが目標に掲げられており、その達成に向けた普及促進に継続的に取り組んでいくことから、指標として設定しておりません。</p> <p>また、「5. ICTの活用に関する人材育成、利用機会等の格差の是正」については、</p>	<p>ご意見については、左記の市の考え方のとおりです。計画の内容は従前のままとします。</p>	C

番号	計画案の該当箇所	ご意見の概要（基本は原文どおり）	市の考え方	計画への反映	意見区分
			上位計画である安城市総合計画（後期計画）で指標を定めている項目があるため、本計画で改めて設定を行わないこととしています。		
3	(P23) 「用語解説：DX」について	D i g i t a l T r a n s f o r m a t i o n の略ならば「DT」ではないのか、「DX」となった理由を教えてください。	「Digital Transformation」の「trans」が「交差する」という意味であり、英語圏において交差するという意味である「cross」を「X」の1文字で表すことから、「DX」と略されています。	ご意見については、左記の市の考え方ととおりです。	D
4	回覧板・広報のデジタル化	回覧板・広報は、準備する人の印刷・回覧準備のコストがかかる。また、近隣住民で回覧/配布する形式であるため、回覧が遅くなる場合がある。紙媒体として必要な人には印刷物を提供し、不要な人にはwebから確認する形の方が良い。 webにすることで、いつでも何度でも確認することができたり、検索性が向上し必要な情報が得やすくなる。また、必要な人に必要な通知を届けやすくなったり、アクセス数から様々な項目の需要などを把握することができる。 PC操作など不慣れな方でも、回覧内容を作成/共有しやすい・回覧内容を確認しやすいプラットフォームを作れると良い。	回覧板は、町内会等の住民自治組織が個別に管理していることもあり、現在のところ、共通利用できるプラットフォームを構築する予定はありません。 しかしながら、住民自治組織等における回覧板・広報は、各住民自治組織だけでなく市としても様々な情報を周知する上で重要な役割を担っていると認識していることから、ICTサービスの利活用により利便性が向上するよう、サポート体制の構築等について検討してまいります。	ご意見については、左記の市の考え方ととおりです。	D
5	安城市図書館の	現状の運営に感謝していますが、追加で欲しい機能が	資料検索やマイページ等のシステムの機	ご意見については、	D

番号	計画案の該当箇所	ご意見の概要（基本は原文どおり）	市の考え方	計画への反映	意見区分
	web ページと予約本自動受取窓口	<p>あるので列挙します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料検索時に、在庫場所を示して欲しい。現状は、図書館の端末からは確認できるが、ユーザーの端末からは確認できない。毎度、そもそも図書館が取り扱っている書籍かを自分の端末で確認してから、場所を図書館の端末で確認する手間がある。 ・マイページに貸出履歴を表示して欲しい ・自動予約本受け取り機を安城駅の 2F に用意して欲しい。 	<p>能については、利用者や今回いただいたご意見をもとに、利用しやすい機能となるよう検討していきます。</p> <p>安城駅の 2F への自動予約本受け取り機の設置は、コスト面や運用面を踏まえると大変困難であると考えており、現在のところ設置する予定はありません。なお、安城駅での予約本の受取及び返却については、時間の制限はございますが(8:00~22:00)、「KEYPORT」で実施しています。</p>	左記の市の考え方のとおりです。	